



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界



サステナビリティ説明会

～UACJグループが成長し続けるために～

2025年11月26日
株式会社UACJ



本日のプログラム

登壇者	内容	時間
田中 信二 (代表取締役 社長執行役員)	アルミニウムの役割とUACJの貢献	
成田 緑 (執行役員 サステナビリティ推進本部長)	気候変動対策への責任ある取り組み ～UACJグループの環境ビジョン	10:03～10:40
浦吉 幸男 (執行役員 ビジネスサポート本部長)	働く一人ひとりのWell-beingの向上 ～UACJグループの人材戦略	
休憩		10:40～10:50
田中 信二 永田 亮子(独立社外取締役) 赤羽 真紀子(独立社外取締役)	UACJグループの“未来”を語る ～社長と社外取締役の視点から～	10:50～11:30
休憩		11:30～11:35
質疑応答		11:35～12:00



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界



アルミニウムの役割とUACJの貢献

代表取締役 社長執行役員
田中信二



UACJグループ理念体系(フィロソフィー)

UACJグループ理念



行動指針「UACJウェイ」



企業理念(パーカス)

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

目指す姿(ビジョン)

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

価値観(バリュー)

行動指針「UACJウェイ」

相互の理解と尊重

- 地域社会との交流を大切にし貢献する。
- 人の多様性を認め、価値観を尊重する。
- オープンなコミュニケーションを実践し、チームと個人の成長を大切にする。
- 「イキイキとした職場づくり」を推進する。

誠実さと未来志向

- 5G恩主義に基づき行動する。
- 現実に真摯に向き合い、物事の本質を捉えた「誠実なモノづくり」を通じて、ステークホルダー目線の期待に応える。
- 「未来志向」で時代を先取りし、地球環境を守る活動に積極的に取り組む。

好奇心と挑戦心

- 環境の変化に対して常に「好奇心」と「挑戦心」を持ち、社会が必要とする製品とサービスを提供する。
- 社会の将来に向けたオープンイノベーションに対して、創造力を持って取り組む。

長期経営ビジョン “UACJ VISION 2030”

アルミニウムを究めて、サステナブルな社会の実現に貢献



UACJグループのサステナビリティ ~軽やかな世界へ導く羅針盤~

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

Environmental Sustainability / 緑豊かな青い地球

Business 事業

事業を通じて
軽やかな未来を創造するために

12 持続可能な開発目標
SDGs



環境 Environment

緑豊かな青い地球を
未来に継承するために

13 生態系の保全
Biodiversity



お客様



社会の
様々な人々



従業員



地球環境



地域社会



お取引先



株主・投資家

People 人

従業員一人ひとりの幸せが
家族やすべての人に広がることをめざして



8 持続可能な
開発目標
SDGs

社会 Society

豊かで調和ある
社会をめざして

誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ

Well-being / ウエルビーイング

100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。

自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。

同じものとして、何度も生まれ変わることができる
この特徴は、アルミニウムならでは。
言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を
技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、
これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に
地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い
環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、
あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、
ステークホルダーの皆さんとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。

未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。
それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

低環境負荷製品の開発、リサイクル施策の進展

アルミニウムの可能性を追及し、環境への取り組みを加速

リサイクル設備等
への投資

- ・リサイクル率向上
- ・アルミニウム用途拡大

80%

FY30
目標

環境に配慮できる
製品群の拡大

65%

FY19
(BM)

73.9%

FY24
実績

「UACJリサイクル率」目標の推移

※純アルミ(1000系、8000系)材を除く
※対象拠点: UACJ(名古屋・福井・深谷製造所、小山製作所)、
UATH(ラヨン製造所)

ブランディング活動の展開

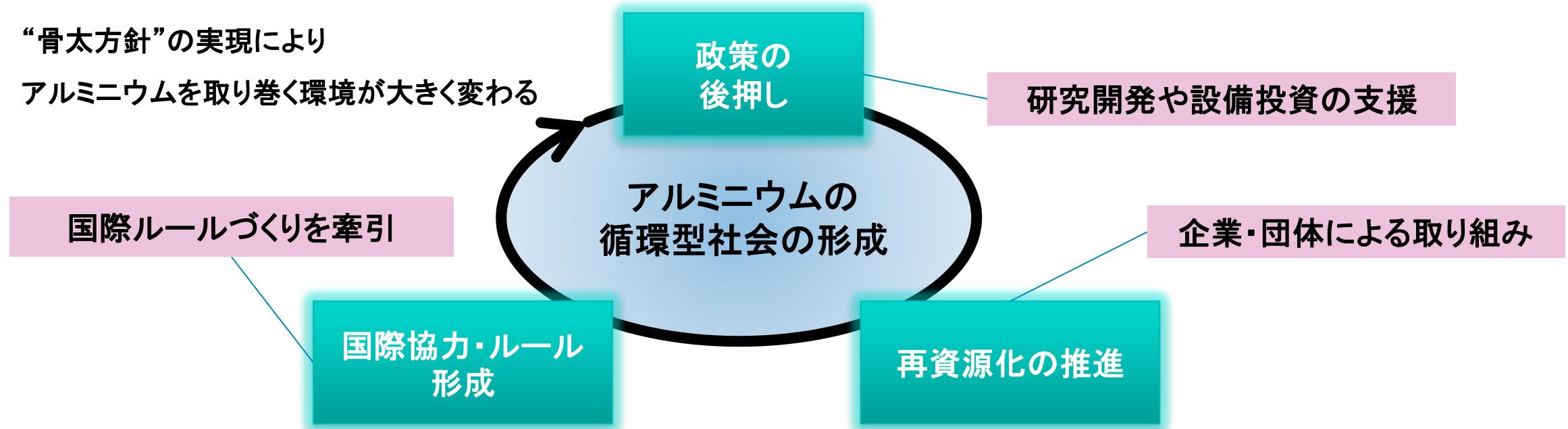
「骨太方針」への“アルミ”登場

「GXの推進、サーキュラーエコノミー」の推進にあたり

アルミニウムが社会課題解決の重要な要素として、より強い注目を集める

“骨太方針”の実現により

アルミニウムを取り巻く環境が大きく変わる



(1)GXの推進: サーキュラーエコノミー(循環経済)については、再生材利用拡大と製品の効率的利用を促進する
動静脈連携のための制度や太陽光パネルの廃棄・リサイクル制度の検討、プラスチック・
アルミ等の金属の再資源化を含め、研究開発や設備投資の支援を行うとともに、国際協力やルール形成を推進する。

【経済財政運営と改革の基本方針2025】(令和7年6月13日閣議決定)より抜粋

アルミニウムへの期待を牽引

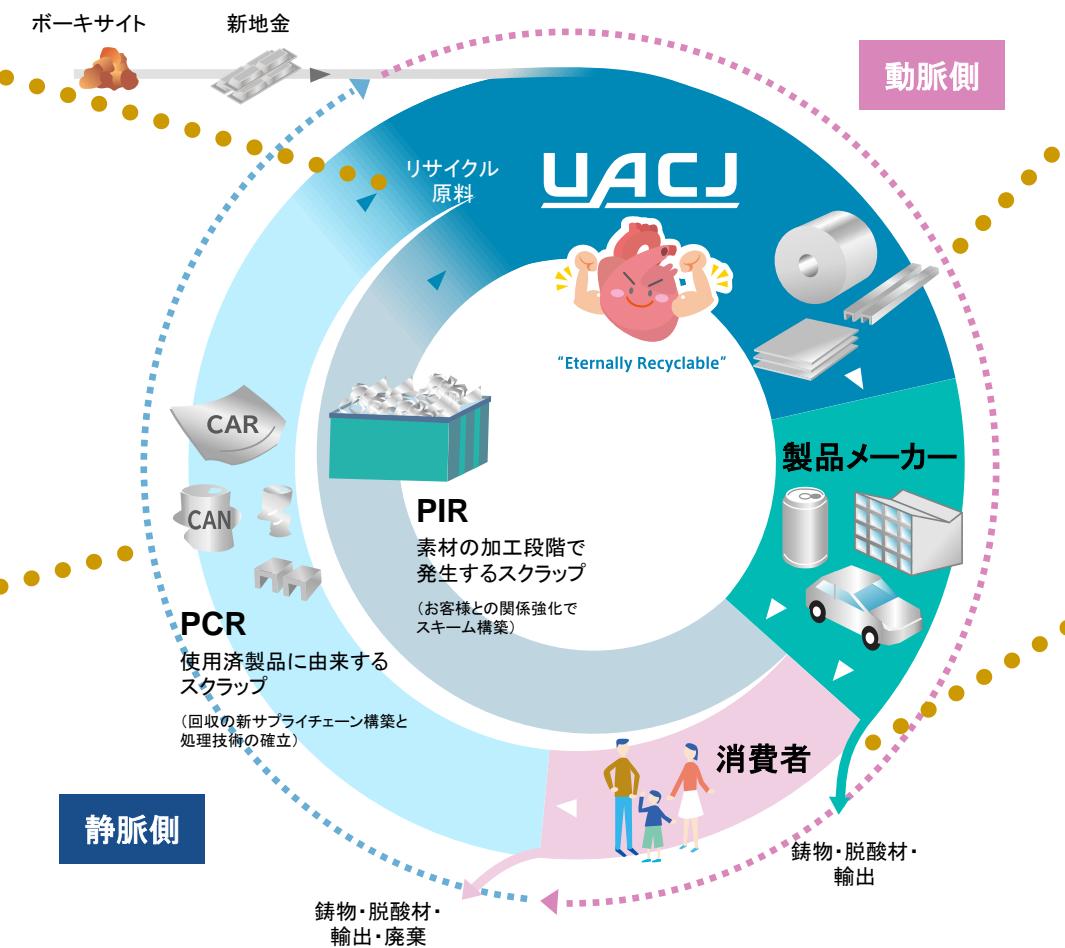
サーキュラーエコノミーの輪を太く、大きくするために

リサイクル率向上



UACJ山一アルミ缶リサイクル株(福井製造所内)
新設UBC加工設備 建屋外観

PCR回収の
さらなる強化



低環境負荷の
製品開発



アルミニウムの
可能性を伝える



UACJの「人的資本」に対する考え方



外部環境の変化

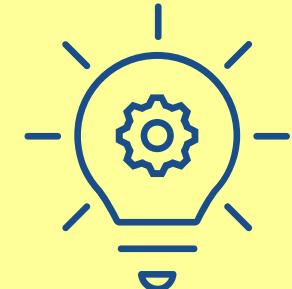
人的資本(Human Capital)の経営上の位置づけが変化

- ✓ 中長期の企業価値向上を目指す上で、「人材」=「重要な資本」とする認識の広がり
- ✓ 「エンゲージメント」の経営における重要性の高まり

UACJの環境変化

「人」にまつわる戦略的位置づけを再整理

- ✓ 「人」にかかわる概念の整理
- ✓ 「人」にかかわる既存の考え方の整理



人を育み、
人を繋いで、
軽やかな未来を創る

UACJグループ全体での
「人」への取り組み強化へ

ピープルステートメントと人的資本経営の全体像

人を育み、人を繋いで、 軽やかな未来を創る

UACJグループの人的資本についての考え方

UACJグループの未来を創る源泉。
それは、UACJグループ理念に共鳴して働く
わたしたち一人ひとりにはかなりません。

UACJグループの持続的な成長と、
軽やかな世界の実現のために、
まず、働くわたしたちの「Well」を高めること。
その「Well」を、繋ぎ、広げること。
誰もがイキイキと輝き、
成長を共に喜びあえる最高のチームとなること。

そんな、UACJグループの「人づくり」「組織づくり」と
それを支える「働く環境づくり」を
進めていきます。

共に育みあい、繋がりながら、
軽やかな未来を、みんなで一体となって
実現していきましょう。

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する

働く一人ひとりの
Well-being 向上

人を育み、人を繋いで、軽やかな未来を創る

人材力・組織力の向上

わたしたちの働く Well

多様な仲間と出会い、繋がり、成長を喜びあい
チーム一丸となって目標を達成する感動

わたしの働く Well

個人としての成長・成果を認められる喜びと
仕事を通じて社会に貢献しているという誇り

わたしの心と体の Well

安全・安心で健康的な毎日を過ごせる
幸せと、仕事とプライベートの調和による
毎日の充実感

組織づくり

多様な一人ひとりの活躍の掛け合せによる
グループの持続的な成長を支える組織づくり

人づくり

持続的な成長を支える多様な人材の獲得・育成と
一人ひとりの活躍をひきだす人材マネジメント

働く環境づくり

安全・安心で健康的な働きやすい
職場環境づくり



UACJグループの成長を支える、働く一人ひとりのWellと人材・組織づくりの好循環

環境への取組み

人的資本経営への取組み

事業活動を通じた
社会的な価値・環境的な価値・経済的な価値の創出



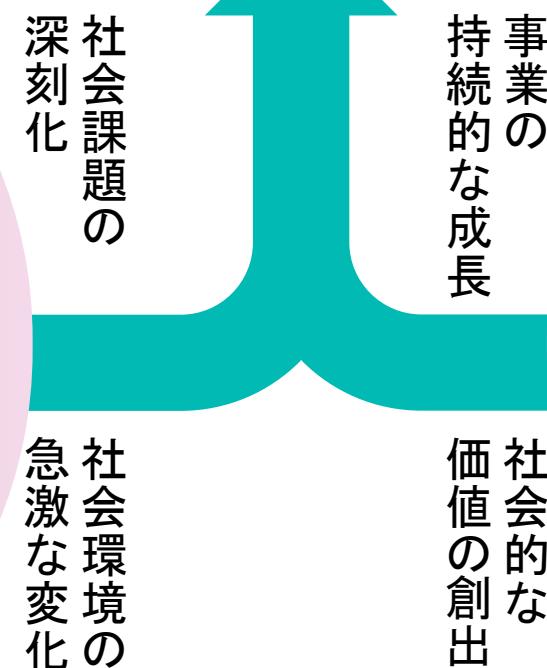
社会的な価値、環境的な価値の創出と、UACJの持続的な企業価値の向上

外部環境の変化

気候変動問題の深刻化
プラスチック汚染の拡大
世界的な水不足の深刻化

人口動態の変化
AI等、デジタル技術の急発展
ウェルビーイング重視の価値観の浸透
エシカル消費への変容

100年後の軽やかな世界の実現へ



UACJのアプローチ

- ・低環境負荷製品の研究開発
- ・環境等に配慮して生産された原材料の調達
- ・生産プロセスの低環境負荷化
- ・輸送効率の改善
- ・使用済み製品の回収・リサイクルシステムの構築
- ・会社を支える人材の長期目線での育成
- ・“UACJで働いてよかった”-従業員満足度の向上



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界



気候変動対策への責任ある取り組み ～UACJグループの環境ビジョン

執行役員 サステナビリティ推進本部長
成田 緑



環境に関するマテリアリティと目標



「アルミニウムの循環型社会」の牽引(サーキュラーエコノミー)

アルミニウムを社会に送り出す「動脈」と
リサイクルして社会に戻す「静脈」の役割を果たす



気候変動への対応

アルミニウムの利活用の機会を拡大することで、
社会全体におけるGHG排出量の削減に貢献する



自然の保全と再生・創出(ネイチャーポジティブ)

サプライチェーン全体で自然への負荷を最小化し、
自然の保全・再生・創出と経済の両立の貢献する

マテリアリティ	対応課題	評価指標	2030年度目標	2050年度目標
気候変動への対応	「アルミニウムの循環型社会」の牽引 アルミ合金のリサイクル率最大化	UACJリサイクル率 ^{*1}	80%	100%
	カーボンニュートラルへの挑戦(Scope1, 2) サプライチェーン全体でのGHG排出量最小化 (Scope3)	Scope1, 2排出量の削減率 ^{*2} (2019年度比・原単位)	30%	カーボンニュートラル実現
	水の有効活用による取水の最小化	Scope3(Category1)排出量の 削減率 (2019年度比・原単位)	30%	サプライチェーン全体での GHG排出量最小化
自然の保全と再生・創出 (ネイチャーポジティブ)	水の有効活用による取水の最小化	取水量の削減率 ^{*3} (2020年度比・原単位)	25%以上	-

*1 循環アルミ量/溶解炉への挿入量(純アルミ材を除く)

*2 第6次エネルギー基本計画に基づき算出

*3 種類は下水再生水含む、工業用水、水道水、井戸水、地表水を対象

低環境負荷対応の推進

- UACJリサイクル率73.9%への到達(2024年度実績)
- リサイクル原料の調達量拡大、使いこなしのための設備能力拡大
- グリーン新地金^{*1}100%のアルミ汎用薄板を発売
- 空調機用熱交換器のアルミフィン水平リサイクル技術を実証
- 「縦型高速双ロール鋳造実験機」の完成、大量のリサイクル材の活用のため実験を推進



ASI認証の更新

取得拠点:

福井製造所、名古屋製造所^{*2}、UATHラヨン製造所(タイ)、
TAAおよびLogan Aluminum Inc.(米国)、
UWHサンミゲルデアジェンデ製造所(メキシコ)、DUB(中国)

認証有効期間:

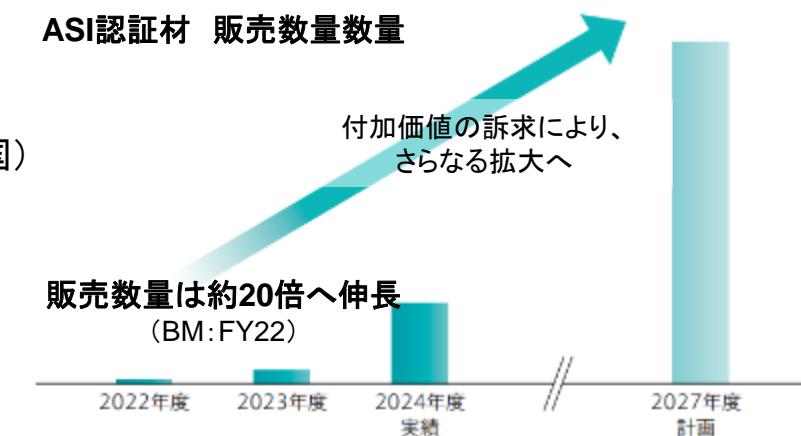
~2026年1月 PS^{*3} (福井製造所:更新監査受査済み)
~2028年3月 CoC^{*4}

*1 グリーン新地金:非化石エネルギーを発電源とした製錬により生産されるアルミ新地金

*2 取得に向けて活動中

*3 PS 企業統治・環境・社会的責任について持続可能性や透明性を高めるための基準

*4 CoC 加工・流通過程までの持続的な開発のための基準





カーボンニュートラル挑戦宣言と進捗

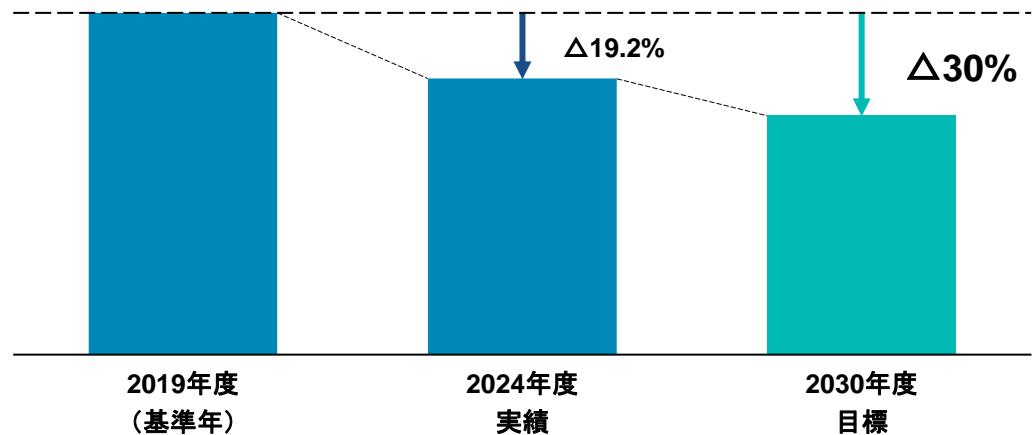
各取り組みはここまで順調に進捗。2030年度目標に向けて一段強い施策を推進
⇒リサイクル原料等の活用が進み、2024年度目標を達成

【Scope1, 2】 (2022年11月公表)

2030年度は30%削減を目指す

2050年はカーボンニュートラルへ挑戦

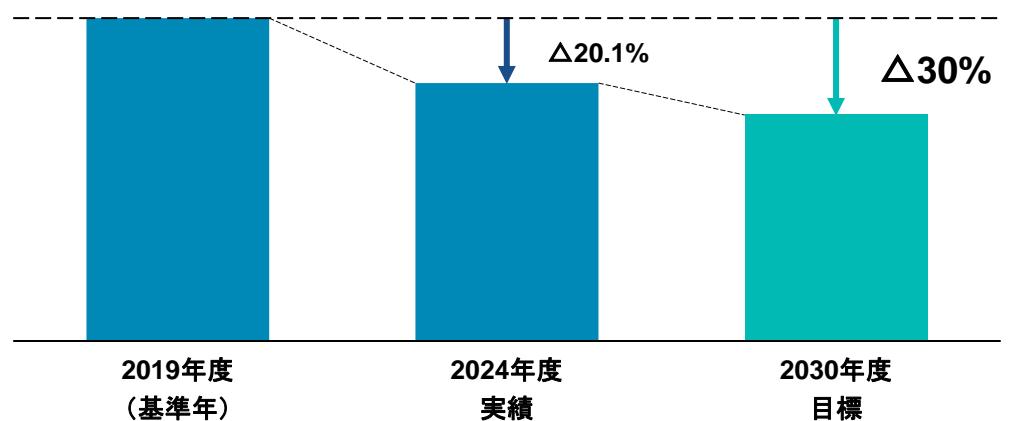
Scope1,2のCO₂排出原単位削減率の推移



【Scope3】(2022年11月公表、2023年12月修正)

- ✓ 2030年度はリサイクルなどの拡大により30%削減を目指す
- ✓ 2050年はサプライチェーンの様々なパートナーとの協業に取り組み、リサイクル最大化、かつサプライチェーン全体でのCO₂等のGHG排出削減活動を行い、GHG排出最小化を目指す

Scope3のGHG排出原単位削減率の推移





国内の化石燃料に含まれる
CO₂排出量に課金

化石燃料
賦課金
(炭素税)

<UACJグループへの影響>

エネルギーコストの上昇、
賦課金の有無による競争力変化
等

EU域内に輸入される製品に
炭素コストが課される

CBAM

<UACJグループへの影響>

サプライチェーンを通した排出量の算定、
報告体制の整備や低炭素製品への
転換が急務

国内の排出量取引制度

GX-ETS

<UACJグループへの影響>

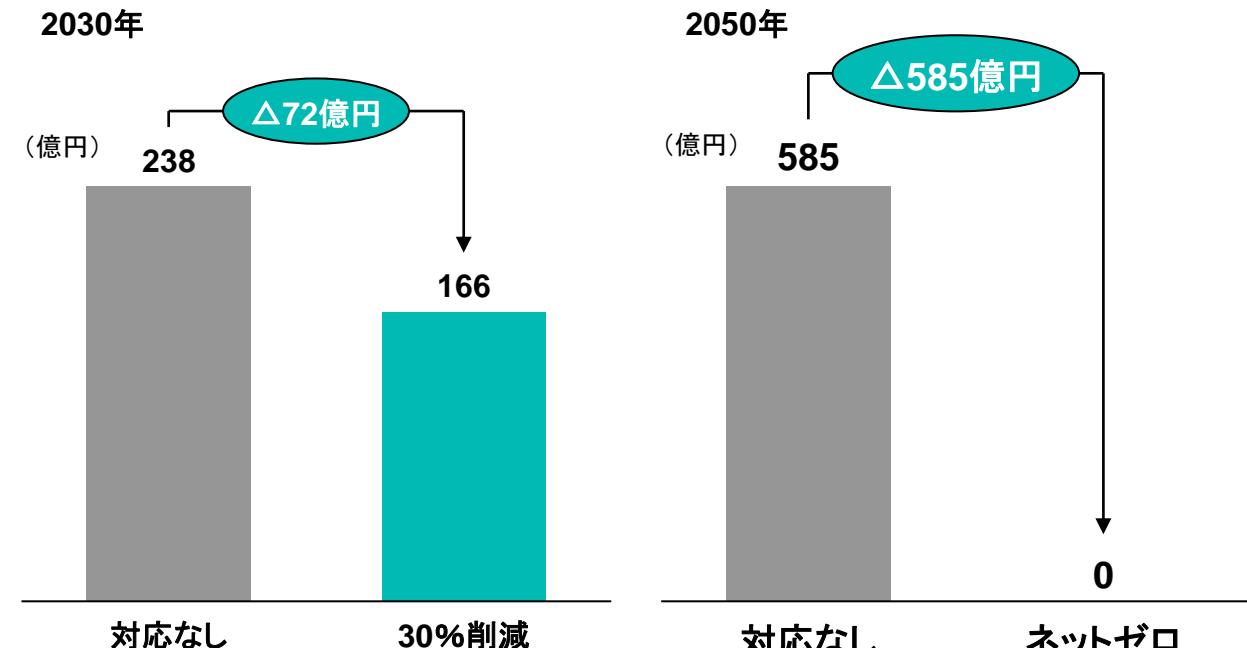
排出枠の管理義務、
排出枠の戦略的活用

化石燃料賦課金(炭素税)の導入によるリスクと機会の評価と取り組み



省エネのための既存設備の更新や新規導入、再生可能エネルギーの活用を進め
サプライチェーンを通じた環境負荷の低減へ貢献していく

炭素税の財務影響額試算(収益)



<試算の前提>

シナリオ IEA、WEO(World Energy Outlook)2024 NZE(1.5°C)シナリオ
CO₂価格(USD) 2030年度:140USD、2050年度:250USD
為替 140円/\$

炭素価格(炭素税・国境炭素調整)によるリスク/機会の評価と対応策

	事業インパクト	対応策
リスク	✓ 輸入原料・資材の調達コスト増加	<ul style="list-style-type: none">➢ 長期的なCO₂排出量削減目標の設定➢ 長期的なエネルギー使用量削減目標の設定➢ インターナルカーボンプライシングの導入
	✓ 電力コスト増	
機会	✓ GHG排出量抑制が不十分な国・地域による製品の競争力低下に伴う当社製品販売機会と収益の増加	<ul style="list-style-type: none">➢ 長期的なCO₂排出量削減施策の実施➢ 森林等のCO₂の吸収とクレジット制度の活用➢ 削減貢献量の評価方法構築➢ 脱炭素に向けた、官民連携・国際協力による省エネ技術の移転

CBAM開始を見据えて



EU域への製品出荷の拡大に向け、CBAM対応は必須事項

環境負荷を抑えた製品づくりを通じ、国際競争力を高めていく

CBAM

EU域外で生産された製品に対して、EU域内の炭素価格との差額分の支払いを求めるもの
段階的に導入が進み、2026年1月より本格適応開始予定
※排出量の算定方法、申告方法、納税時期や負担割合等、
詳細が今後公表予定



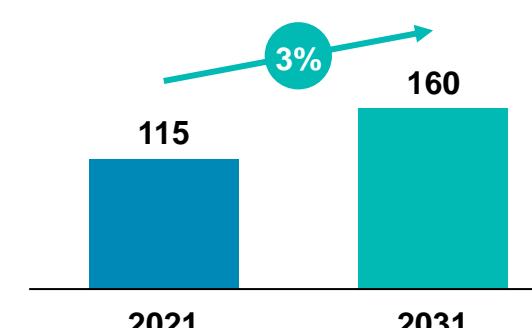
中央プラットフォーム
(欧州委員会の管理)



お客様
=認可申告者



欧州域の缶材需要予測(万トン)



出典:当社調べ

CBAM導入で、

- ✓ EU域内への輸出業者 と
- ✓ EU域内の事業者 の事業環境が平準化され、
より公平な競争環境が構築

⇒欧洲缶材需要に、公平な環境での競争へ

日本国排出量取引制度(GX-ETS)への取り組み ①

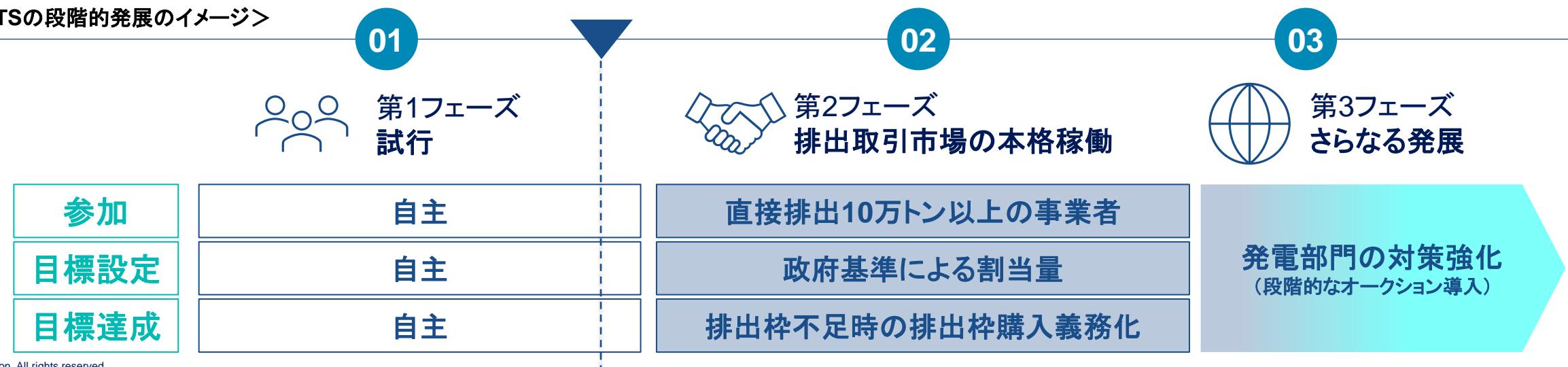


2023年度より、「GXリーグ」において、自主的な排出量取引制度が試行。

GXリーグにおける試行的取り組みの成果を踏まえ、2026年度より排出量取引が義務化へ

対象企業	Scope1で年間排出量が10万t以上である企業
排出枠価格	排出枠取引市場・取引価格がベース ⇒毎年の上下限価格が設定され、上下限価格は毎年引き上げ予定
制度開始時期	2026年4月スタート

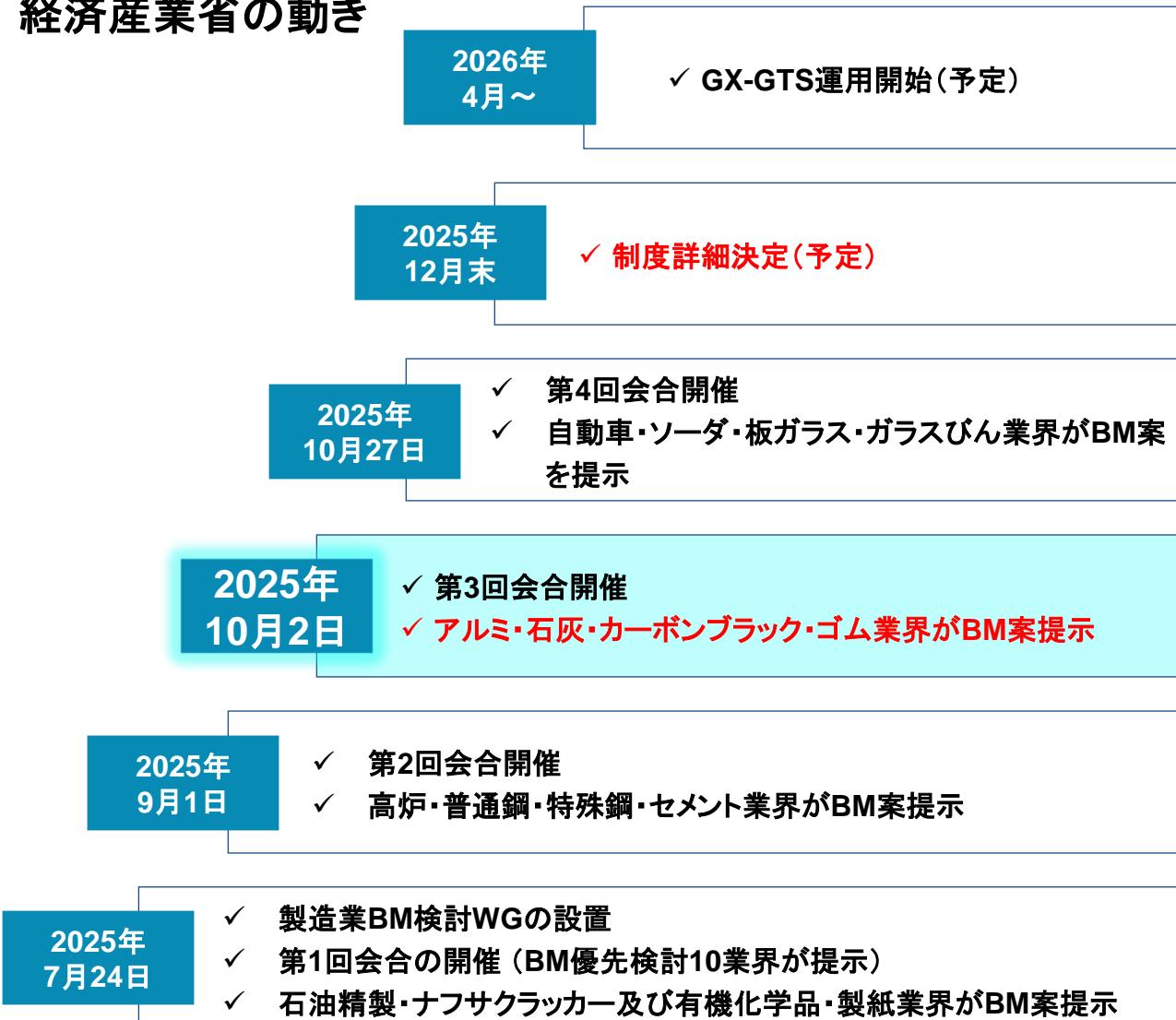
<GX-ETSの段階的発展のイメージ>



日本国排出量取引制度(GX-ETS)への取り組み ②



経済産業省の動き



アルミ業界の動き

BM案補正内容
アルミニウム製品の製造工程を「上工程(溶解工程)」と「下工程(製品工程)」に区分し、上工程にて補正を実施したい
⇒企業間のばらつきを低減し、省エネに対する努力が等しく評価される制度を目指す

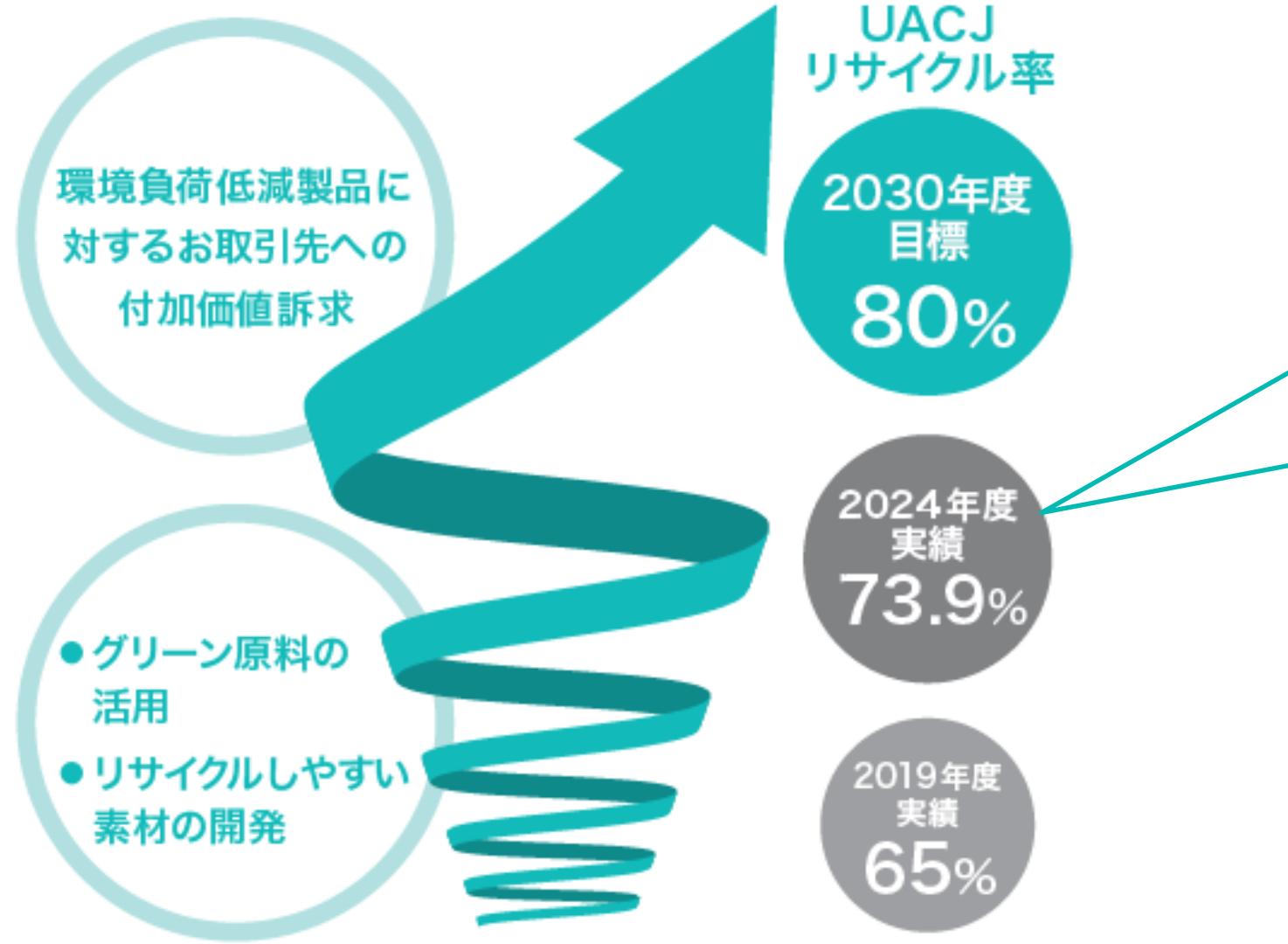
➤ BM案追加提示

(優先検討10業界以外で経済産業省へ了承を取り、追加案を提示したのは5業界のみで、その内の一つがアルミ業界)

➤ 素材間競争の不利を是正

BM案提示に向けて調整

➤ アルミ業界BM案は、“軽圧”業界にて作成



【FY30 の目標達成に向けて】

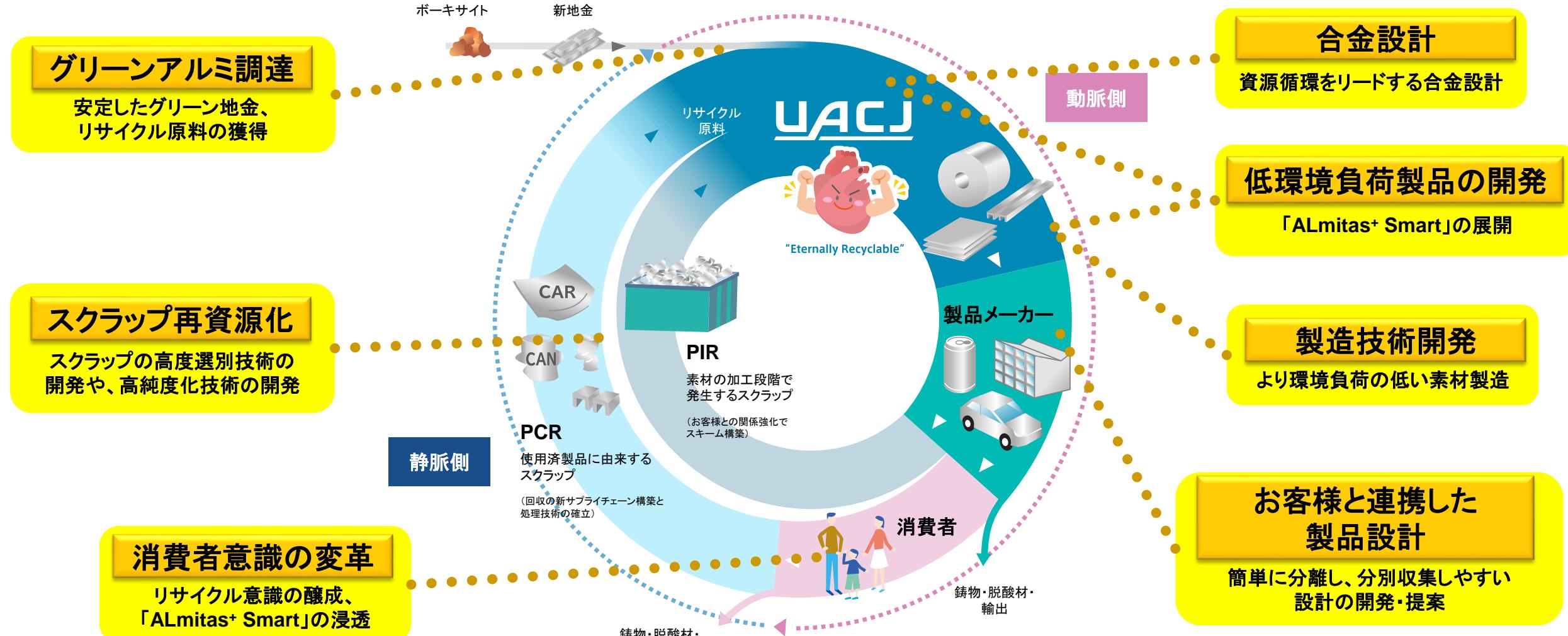
- リサイクル原料の使用計画をモニタリング
- PCRを使いこなし、PCRを活用した新製品の開拓を進める

【今後の進展にむけた課題】

- ✓ スクラップ原料の十分量の確保
- ✓ 最終消費者のリサイクル意識の醸成
- ✓ 水平リサイクルのルートの確立、拡大
- ✓ 業界団体を通じたロビー活動を展開



資源調達の強靭化、環境負荷低減、競争力向上を目指す



美しく豊かな地球がずっと続く未来へ



UACJグループの考える環境コンセプト

緑豊かな青い地球に感謝し、アルミニウムをさらに究めて、持続可能な社会形成に貢献して参ります

アルミニウムは毎日の生活になくてはならない身近なライフラインを支える素材であるとともに、モビリティ、宇宙産業、ヘルスケア、ITなど幅広い分野で活躍する素材。アルミニウムを使うことで、資源エネルギーの節減や環境負荷を減らせるなど、さまざまな可能性を秘めています。

そんなアルミニウムの生産に、多くの地球の資源を利用してきたUACJだからこそ、環境への取り組みには従来から真摯に向き合ってきました。環境関連の法令や基準を遵守するのはもちろんのこと、取水量の削減や利活用など、「水」「土壤」「大気」「資源エネルギー」といったあらゆる観点から私たちの“当たり前”として取り組んできました。

そして今、私たちは、社会や地球といった私たちを取り囲むすべてに視野を広げています。たとえば、資源循環の心臓の役割を果たすこと。バリューチェーン全体で温暖化ガス排出量を最小化し、カーボンニュートラルを実現すること。さらに、水資源など自然を保護することに留まらず、再生・創出につながるポジティブな活動を展開すること。

私たちUACJグループは、アルミニウムの可能性をさらに追及して、環境への取り組みを続けていきたいと思います。未来の子どもたちに軽やかで豊かな社会を渡すために。



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界



働く一人ひとりのWell-beingの向上 ～UACJグループの人材戦略

執行役員 ビジネスサポート本部長
浦吉幸男



UACJグループの“Well-being”

「働く一人ひとりのWellの向上」と「人材・組織づくりの推進」の好循環を図り、
企業理念・企業価値の実現を目指す

UACJグループで働く一人ひとりのWell-being 3つの軸



安全・安心で健康的な毎日を
過ごせる幸せと、
仕事とプライベートの
調和による毎日の充実感

個人としての成長・成果を
認められる喜びと、
仕事を通じて
社会に貢献しているという誇り

多様な仲間と出会い、
繋がり、成長を喜びあい、
チーム一丸となって
目標を達成する感動

ピープルステートメントと人的資本経営の全体像

人を育み、人を繋いで、 軽やかな未来を創る

UACJグループの人的資本についての考え方

UACJグループの未来を創る源泉。
それは、UACJグループ理念に共鳴して働く
わたしたち一人ひとりにはかなりません。

UACJグループの持続的な成長と、
軽やかな世界の実現のために、
まず、働くわたしたちの「Well」を高めること。
その「Well」を、繋ぎ、広げること。
誰もがイキイキと輝き、
成長を共に喜びあえる最高のチームとなること。

そんな、UACJグループの「人づくり」「組織づくり」と
それを支える「働く環境づくり」を
進めていきます。

共に育みあい、繋がりながら、
軽やかな未来を、みんなで一体となって
実現していきましょう。

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する

働く一人ひとりの
Well-being 向上

人を育み、人を繋いで、軽やかな未来を創る

人材力・組織力の向上

わたしたちの働く Well

多様な仲間と出会い、繋がり、成長を喜びあい
チーム一丸となって目標を達成する感動

わたしの働く Well

個人としての成長・成果を認められる喜びと
仕事を通じて社会に貢献しているという誇り

わたしの心と体の Well

安全・安心で健康的な毎日を過ごせる
幸せと、仕事とプライベートの調和による
毎日の充実感

組織づくり

多様な一人ひとりの活躍の掛け合わせによる
グループの持続的な成長を支える組織づくり

人づくり

持続的な成長を支える多様な人材の獲得・育成と
一人ひとりの活躍をひきだす人材マネジメント

働く環境づくり

安全・安心で健康的な働きやすい
職場環境づくり



UACJグループの成長を支える、働く一人ひとりのWellと人材・組織づくりの好循環

人的資本経営とサステナビリティ羅針盤の関係

UACJグループの人的資本経営の全体像

UACJグループで働く
一人ひとりのWell-being向上
を目指した取り組み

経営戦略と連動した
人材戦略



E

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ
Environmental Sustainability / 緑豊かな青い地球



Business 事業
事業を通じて
豊やかな未来を創造するために

環境 Environment
緑豊かな青い地球を
未来に継承するために



お客様

社会の
視点

従業員

S

UACJグループの人的資本経営
= 働く一人ひとりのWell-being



People 人
従業員一人ひとりの幸せが
家族やすべての人に広がることをめざして

Society 社会
豊かで調和ある
社会をめざして



誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ
Well-being / ウェルビーイング

あなたを元気に。みんなを元気に。
UACJ Well WAVE

あなたを元気に。みんなを元気に。

UACJ Well WAVE

地球環境

地域社会

お取引先

UACJと繋がる
社会の様々な人々の
Well-being

経営戦略と人材戦略の連携

「UACJ VISION 2030」の実現に向け、人材ポートフォリオを可視化

各組織の施策に応じた、最適な人材配置の検討へ

<第4次中期経営計画> 素材提供企業から「素材+α」の付加価値提供企業へ

人材に関するテーマ

多様な人材の獲得・育成とエンゲージメント向上

経営戦略



経営戦略と人材戦略の連携

人材戦略



組織づくり

多様な一人ひとりの活躍の掛け合わせによる、グループの持続的な成長を支える組織づくり
DE&I(デ・ア・イ)推進



人づくり

持続的な成長を支える多様な人材の獲得・育成と、一人ひとりの活躍をひきだす人材マネジメント



働く環境づくり

安全・安心で健康的な働きやすい職場環境づくり

報酬/福利厚生制度整備
健康経営推進
職場環境整備

人材戦略の進展で目指す先

テーマに基づいた施策の実行で、UACJグループの持続的な発展に人材面から寄与

基本テーマ	主要施策		
組織づくり	リーダー育成・拡充 組織の持続的な成長を支えるリーダーの計画的な育成・拡充	エンゲージメント向上 優れたチームワークのもと、やりがいを感じて働ける組織づくり	DE&I(デ・ア・イ)推進 一人ひとりの多様性や価値観を尊重できる組織づくり
人づくり	人材獲得・リテンション UACJウェイの価値観に基づく行動ができる人材の獲得・維持	人材育成 変化する事業環境に応じ、主体的に意思決定、問題解決できる人材を育成	評価・配置 成果を適切に評価し意欲・能力を最大限に活かした配置
働く環境づくり	報酬・福利厚生制度 競争力のある報酬制度と福利厚生制度を整備	健康経営推進 心身ともに健康で、活力ある毎日を過ごす環境を整備	職場環境の整備 安全・安心をベースに、快適で効率よく働く環境を整備

Well-being/人材戦略にかかる主なKPI

人材戦略の目標達成を通じて、「働く一人ひとりのWellの向上」と
「人材・組織づくりの推進」の好循環の実現へ

基本テーマ	人事施策	課題	評価指標	2027年度目標	2024年度の取組み状況
人づくり	人材育成	組織づくり エンゲージメント向上	組織の活性化 エンゲージメント調査における 働きがい・やりがい度	3.40点/5.00点	3.30点。国内グループ会社を対象にエンゲージメント調査を実施。各部門でエンゲージメント向上活動を展開
		新たなビジネスと創出する人材の育成	新事業育成に携わった人数 (2021年度～)	累計20人超	累計17人。新事業の企画・育成・実行のための専任組織を設置。社内ベンチャー制度で従業員の挑戦を積極的に支援
		働く環境づくり 報酬・福利厚生制度整備	グループ・グローバル視点を持つ人材の育成 事業本部、グループ会社間の管理職層の異動者数	累計20人超	累計8人。グループ公募制度やローテーション等により、事業本部やグループ会社間の異動を促進
		人を惹きつける魅力ある人事制度の再構築	エンゲージメント調査における制度、評価、待遇の魅力度	3.00点/5.00点	2.93点。過去最高の賃金改善を実施。統合後10年経過する中で、新人事制度への見直しを検討

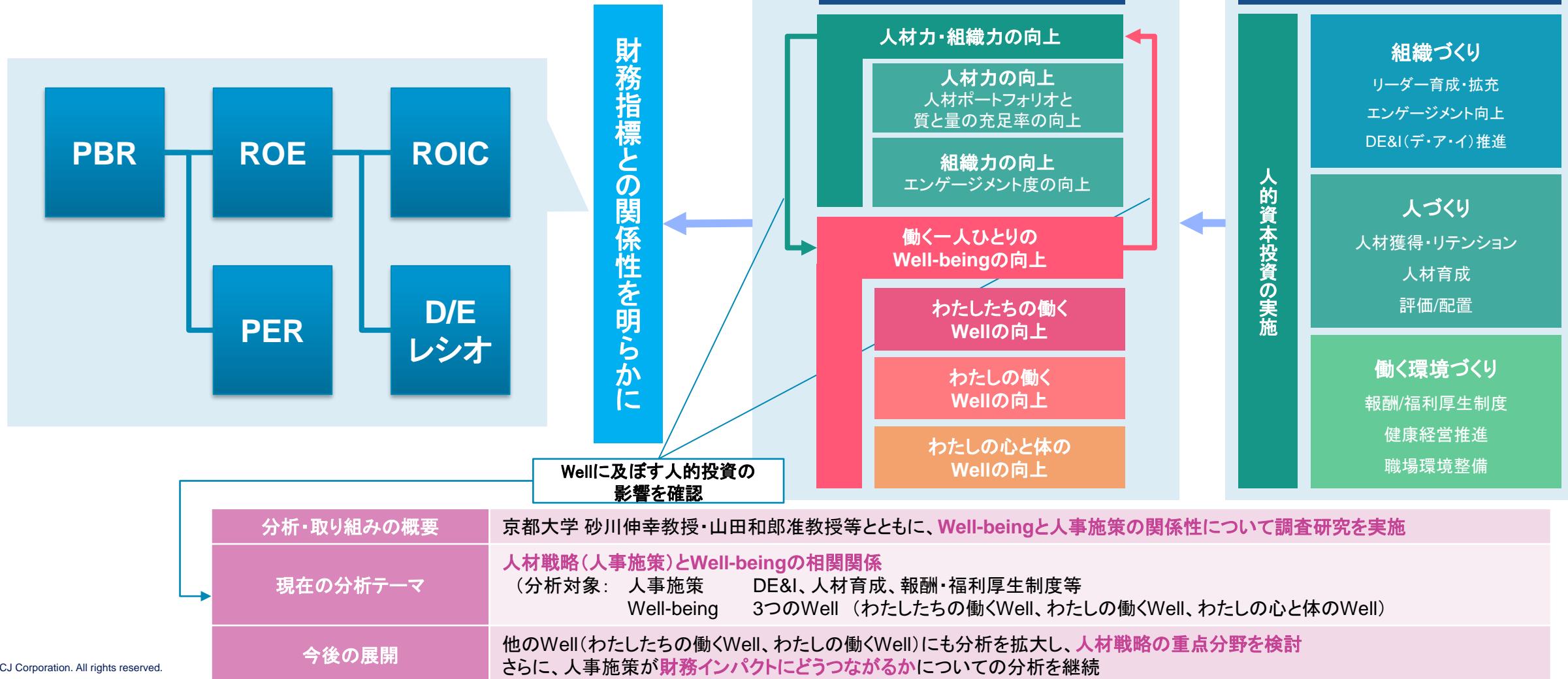
その他の人材戦略にかかるKPIは、以下のURLをご参照ください
uacj.co.jp/sustainability/social/pdf/human-capital_kpi.pdf

人的資本による企業価値向上の可視化

*相関性：統計的優位さをもって相関性を確認

一部の人事施策と「わたしの心と体のWell」に相関性*があることを確認

「人的資本による財務インパクトの可視化」に向けた概要



誰もが幸せを感じられる 健やかで調和の取れた社会へ

あなたを Well に。みんなを Well に。

UACJ Well WAVE



あなたを Well に。みんなを Well に。

UACJ Well WAVE

UACJが考える Well-being。

それは、一人ひとりが健康で心が充実し
幸せを感じられるような良い状態 “Well” が、
家族や周りの人々、地域や社会の Well につながり、
その Well がまた一人ひとりに返ってくる「Well の WAVE(波)」だと考えます。

あなたの Well は何ですか。

生きがいや働きがいを感じるのはどんな時でしょう。
家族や友人、同僚の Well を知っていますか。
会社や地域、社会にとっての Well って何でしょう。

一人ひとりが自分らしく輝くことができるよう
UACJはみんなの未来を Well にしていきたいと考えます。

まずはあなたが Well であるように。

そして、いろいろな Well が波のように広がり、重なりあっていけるように。

あなたを Well に。みんなを Well に。



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界



取締役座談会

UACJグループの“未来”を語る

～社長と社外取締役の視点から～



登壇者プロフィール



独立社外取締役
永田 亮子
指名・報酬諮問委員会
委員長

- 1987年 4月 日本たばこ産業株式会社 入社
2008年 6月 同社 執行役員飲料事業部長
2013年 6月 同社 執行役員CSR担当
2018年 1月 同社 執行役員社長付
2018年 3月 同社 常勤監査役
2021年 6月 本田技研工業株式会社 社外取締役 監査委員(現任)
2023年 3月 株式会社メドレー 社外監査役(現任)
2023年 6月 株式会社UACJ 社外取締役(現任)

登壇者プロフィール



独立社外取締役
赤羽 真紀子

指名・報酬諮問委員会
委員

- 1993年 4月 株式会社三菱銀行(現株式会社三菱UFJ銀行) 入行
- 2001年 1月 スターバックスコーヒージャパン株式会社
広報室 環境・社会貢献事業チームマネージャー
- 2003年 8月 株式会社セールスフォース・ドットコム(現株式会社セー
ルスフォースジャパン) 社会貢献部長
- 2006年11月 日興アセットマネジメント株式会社 CSR室長
- 2010年 4月 CSRアジア株式会社 代表取締役(現任)
- 2022年 6月 株式会社バイオラックス 社外取締役(現任)
- 2023年 6月 株式会社UACJ 社外取締役(現任)

UACJグループの“未来”を語る ～社長と社外取締役の視点から～

- 経済的な価値と社会的な価値の追求
～UACJ VISION 2030達成への思い
- UACJの情報開示
～“UACJらしさ”と説明責任
- 透明性ある経営のために



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

